

講義年月日	2002年11月13日 (水)
講演者	高橋 智氏 (慶應義塾大学附属研究所斯道文庫助教授)
テーマ	研究者からみた専門職としての図書館員の必要性
講義内容	<p>特殊文庫経営法</p> <p>1. 文庫 ・文庫とは、一つのまとまったコレクションを指す。 ・文庫は、それなりの意味があって蒐集されたものなので、まとめて保存すべきである。分類によってばらして配架することは、蒐集の意図を否定することに他ならない。ばらしてしまうと価値が半減する。</p> <p>2. 漢籍 (1)漢籍という資料と図書館 漢籍とは、漢字で書かれた中国の古典籍 (例：論語、 史記)。 (2)資料の保存と公開 (3)資料の性格とその目録 ・目録は文庫ごとに作成する。 図書館員が使いやすい、わかりやすい目録を作る。</p> <p>3. 文献学 (1)日本における書誌学と中国における文献学 中国の図書館員は文献学を学ぶ。日本では書誌学が文献学に相当する。 日本の図書館員は書誌学を学んでも、文献を扱っているイメージがない。 (2)図書館と文献学 文献学の3体系 目録学 版本学 校勘学 (3)図書館人と文献学 文献学を図書館の資料 (実物) に学ぶことで、図書館員 = 専門家となる。 図書館員は、自分の関心のある分野について深く知識を得て、さらに、自分の図書館にどのような資料があるのかを知る必要がある。専門家より有利な仕事ができる。</p>
用語	<p>文庫 書籍の蒐集を目的とするもの。転じて、まとまった蔵書。コレクション。 漢籍 漢字で書かれた中国の古典籍。 文献学 文献の原典批判・解釈・成立史・出典研究を行う学問。 書誌学 書物を調査・研究の対象とする学問。 目録学 中国で、書物に関する学問をいい、書物の類別・部類・版刻などを研究する。 版本学 目録学の一構成部分として発生、分岐した。写本ではない印刷本 (版本) の文字・印刷・装幀等の違いを研究する学問。 校勘学 典籍の文字・文章の異同について、多くの異本と比較対照し、その原本の姿を突きとめようとする学問。</p>
感想	<p>特殊文庫を「特別」に扱う意義について、あらためて納得させられた。しかし、文庫を特別扱いするためには、それなりの環境 (配架場所等) が必要である。現実との兼ね合いをどう取っていくかが課題として残る。</p> <p>和漢古書を扱う図書館員が持つべき心構えを教えられた。</p>
配付物	<p>「特殊文庫経営法」 長澤規矩也 「貴重書と別置本」 東京都立日比谷図書館 『ひびや』、第10巻 第3号、1968、p.13-18。</p>